



テレビ番組や映像制作現場で培った経験を活かして、
映像とテクノロジーを組み合わせた新たな投影技術の
開発とデジタルコンテンツを制作しています。

略歴

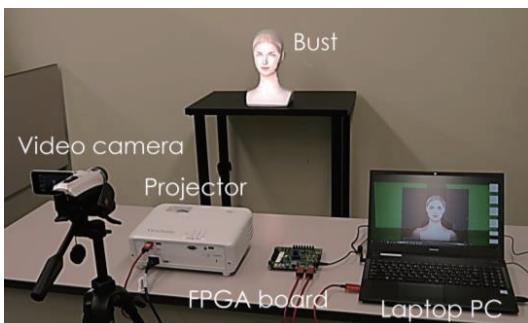
2009年までの23年間、静岡放送報道部、映像制作会社でディレクター・プロデューサーとして勤務。ニュースや情報番組、映像コンテンツの制作に従事。愛知工科大学、桜美林大学を経て日本工業大学情報メディア工学科の教授に着任。クリエイターの経験を活かして映像やプロジェクトマッピングの技術開発、コンテンツを中心とした研究に着手している。博士（美術）

学会・外部委員会

バーチャルリアリティ学会
芸術科学会（評議員）
日本デザイン学会
相模原市文化振興審議委員会委員（副会長）
蒲郡市民病院特定認定再生医療等委員会委員

研究紹介

プロジェクションマッピング技術開発・映像



①自由曲面立体物へのプロジェクションマッピング技術開発

プロジェクションマッピングのなかでも、人体のように自由曲面で構成された立体物への正確な投影は非常に困難です。制作者を支援するために、テレビ番組や映像制作の現場で培った経験を活かして、誰でも簡単にリアルなプロジェクションマッピングができる新たな技術の開発を行っています。
（科研費）23K11729、20K12536、26350025



②外部企業との映像・コンテンツ制作プロジェクト

これまでに制作した映像やコンテンツは、プロジェクションマッピング、CM、VR、ミュージックビデオ、ドラマ、動画、ゲーム、Vtuber、スマフォケース、ロゴマークなど、多岐のコンテンツ分野に渡ります。また制作物に加えて新聞、テレビ等マスメディアでの報道実績も50件以上あり、広報効果も期待できます。

主な共同研究の事例

- トヨタ産業技術記念館20周年プロジェクションマッピング（主催：トヨタグループ17社）
- 甦れVR太陽の塔プロジェクト（日テレマイマジナリウムアワード「審査員奨励賞」受賞）
- 日本コロムビアMVプロジェクト 平山カンタロウ：「ゆら、ゆら、ゆら」MV制作
- 埼玉県庁MVビデオ制作：「ニュー咲きほこれ埼玉」みんなで踊ろう！埼玉愛を届けよう♡

科研費などの外部資金

- 2023-2025科研費：設営と保守を自動化する360度プロジェクションマッピングシステムの開発
- 2020-2023科研費：どこから見てもフォトリアルな次世代プロジェクションマッピングシステムの開発
- 2017 - 2022科研費：映像デザイン学の構築に向けたプロジェクションマッピングの事例調査と統計解析
- 外部資金：高解像度および高フレームレートを用いた次世代映像表現技術の研究開発